

第4章 リーディングプラン

第1節 リーディングプランの概要

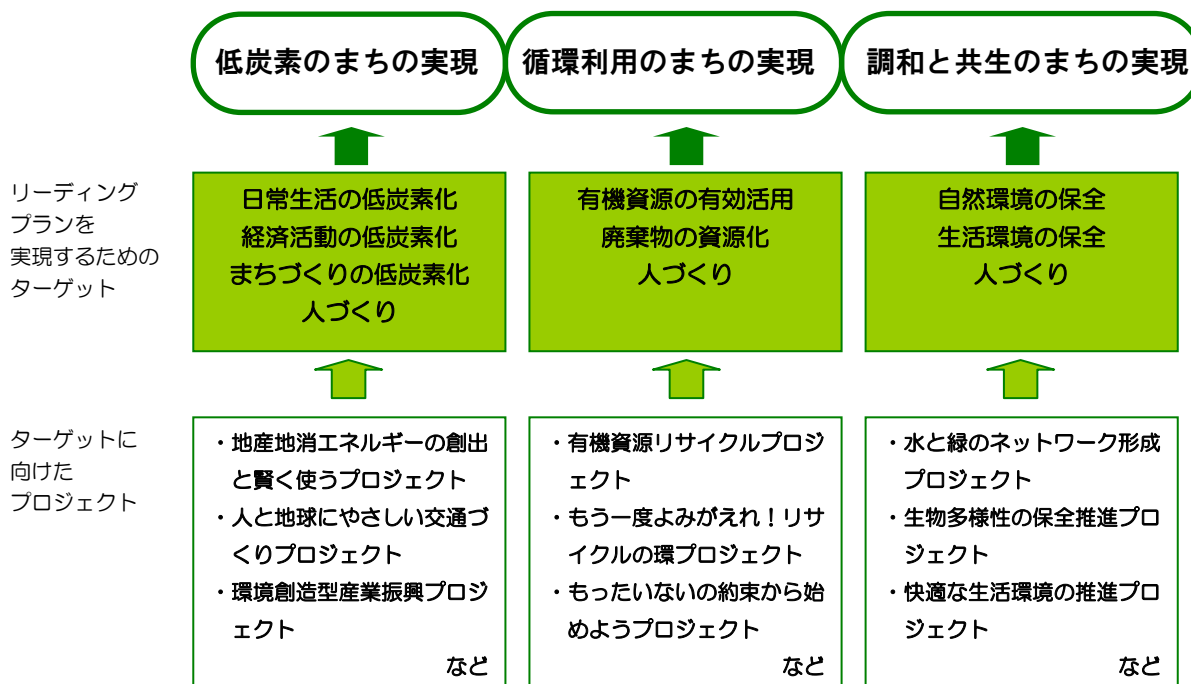
第2節 リーディングプランの内容



第1節 リーディングプランの概要

1 リーディングプランの役割

第3章に掲げた3つの社会像を具体化するため、向かうべき方向性（ターゲット）を定め、特に効果的、特徴的な事業を複合的なプロジェクトとしてまとめ、それらを本計画を先導するリーディングプランとして位置付けます。リーディングプランは分野横断的な性格を持ち、その推進により各プロジェクト間、事業間の連携や相乗的效果が期待されます。また、本計画の進捗管理を行う上での中心的役割を担う取組となります。



2 リーディングプランの構成

考え方や背景	各プランの趣旨、基本的な考え方、背景を示しています。
進捗を見るための目標指標	各プランの進捗や成果を見る1つの手段として、目標指標を設定しています。
取組内容	各プランを構成する取組内容として、ターゲット、プロジェクト、実施時期等の想定を示しています。

第2節 リーディングプランの内容

1 低炭素のまち うつのみや の実現

- 宇都宮市は、北関東の中心都市であり、多様な産業や都市機能が集まるとともに、50万を超す市民が生活し、発展とともにエネルギー消費も拡大してきました。また、道路網が発達し利便が高いことや8割が平坦な地形であることなどから、市街地や商業施設、住宅団地、産業団地などが分散しています。
- 寒暖の差が大きい気候による冷暖房の必要性や世帯人数の減少による生活効率の低下などにより、エネルギー消費量が多い傾向にあるため、それぞれが省エネ対策や新エネ対策を進めていくことが必要となっています。また、日照が豊富であるといった太陽光利活用のポテンシャルなどを生かしながら、エネルギー効率を高めていくことなどが重要となっています。
- 人や物の移動を自動車交通に依る度合いが大きく、自動車保有台数は全国平均を大きく上回り、ガソリンや軽油の消費量がかかなり高い水準にあります。その一方で、公共交通の活用は進まず、利用者は減少していることなどから、車に過度に依存しない環境にやさしい交通体系の確立が求められています。
- 産業は、商業・工業・農業が高水準でバランス良く発達して県全体の3割の経済規模を誇っており、様々な産業分野での環境関連事業の展開や更なる連携の強化など、環境創造型産業の成長が期待されています。
- 宇都宮市のまちづくりの方向としては、現在の豊かな自然環境を保全しながら、拠点化やネットワーク化を進め、都市機能と自然機能が調和した「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成を目指しています。

⇒ これらのことを踏まえ、日常生活や経済活動、まちづくりにおいて、気候に悪影響を及ぼさない水準に大気中の温室効果ガス濃度を低減させると同時に、生活の豊かさを実感できる社会の実現に取り組みます。

進捗を見るための目標指標

目標指標	目標（平成32年度）
市域からの二酸化炭素排出量	市域における平成32年度（2020年度）の二酸化炭素排出量を1990年度比で25%削減する

「低炭素のまち うつのみや」の実現に向けた取組内容

ターゲット	No.	プロジェクト名	プロジェクトの構成内容
日常生活を低炭素化するために	①	地産地消エネルギーの創出と賢く使うプロジェクト ～エネルギー利用を次のステージへ～	<p>◆みやソーラーCity プロジェクトの推進 一年を通じて日照時間が長いなどの地域特性を生かし、更なる太陽エネルギーの利用促進のため、住宅用太陽光発電や、市民の力を活用した太陽光発電普及の仕組みづくりなどにより、ソーラーCityの構築を目指します。</p> <p>◆再生可能エネルギーの利活用の推進 再生可能なエネルギーである小水力や地中熱の利活用策について検討し、普及促進を図ります。</p> <p>◆省エネ機器、省エネ型建築物の普及促進 日常生活や事業活動の省エネルギー化を進めるため、省エネ機器や、エコ住宅等の省エネ型建築物の普及促進を図ります。</p>
	②	人と地球にやさしい交通づくりプロジェクト ～宇都宮発これからの交通戦略～	<p>◆環境にやさしい交通の推進 環境にやさしい公共交通の充実を図るため、基幹公共交通の整備や地域内交通の導入推進を図ります。</p> <p>◆環境にやさしい自転車の利用・活用の促進 環境にやさしい「自転車のまち宇都宮」の実現を図るため、自転車が走りやすい環境の整備やレンタサイクルの利用環境などの充実を図ります。</p> <p>◆低環境負荷型自動車への転換策の推進 EV（電気自動車）等の普及促進に取り組み、市民や事業者が利用する自動車の低環境負荷型自動車への転換を促進します。</p>
経済活動を低炭素化するために	③	環境創造型産業振興プロジェクト ～“低炭素”が合言葉！みやの新たな成長産業～	<p>◆低炭素型ビジネスの創出及び支援 二酸化炭素の排出削減と産業の活性化を両立させる、低炭素型ビジネスの創出及び支援の推進を図ります。</p> <p>◆環境保全型農業の促進 農業の環境負荷を低減するため、省エネ技術等の導入促進などにより、環境保全型農業の推進を図ります。また、農産物の輸送からの環境負荷（輸送エネルギー由来の二酸化炭素排出量等）を削減するため、地産地消の推進を図ります。</p>
まちを低炭素化するために	④	コンパクトで緑の多いまちづくり・地域づくりプロジェクト ～低炭素型コンパクトシティ～	<p>◆環境負荷の少ない市街地整備の推進 環境負荷の少ない市街地の整備を推進するため、都心拠点、地域交流拠点などへの都市機能の誘導を促進します。</p> <p>◆緑による吸収源対策の推進 二酸化炭素の吸収源となる緑の充実を図るため、森林の整備や、中心市街地や都市拠点における緑化の推進を図ります。</p>
人づくりの低炭素型の	⑤	CO₂削減に取り組む人たちの手と手を結ぶプロジェクト ～ひとりのトライが地球を変える～	<p>◆低炭素のまち実現に向けたパートナーシップの構築 市民協働による低炭素のまち実現のため、環境NPO、企業、学校、関係機関等との連携の強化を図ります。</p>

★★ 全部実施 ★ 一部実施 ○ 調査研究等

施策の体系における実施内容	施策体系	前期	後期
<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電システム等の普及促進策の充実 ・市有施設への太陽光発電システムの導入推進 ・市民共同発電所事業の推進 	1-1-2 1-1-2 1-1-2	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・小水力利活用事業の検討, 実施 ・地中熱利活用事業の検討, 実施 	1-1-2 1-1-2	○	★
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭, 事業所における省エネルギー機器の普及促進 ・建築物の省エネルギー化の推進 	1-1-1 1-2-2	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・基幹公共交通の整備 ・地域内交通の導入 	1-2-1 1-2-1	★	★
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車走行空間の確保 ・レンタサイクルの拡充 	1-2-1 1-2-1	★★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・EV等「低環境負荷型自動車」の普及促進 ・EV等に係るインフラ整備普及促進策の実施 	1-1-1 1-2-1	★	★
<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス資源を活用した地域産業の振興 ・低炭素型ビジネスの創出及び支援 ・産官学の連携による低炭素型ビジネスの推進 	1-2-4 1-2-4 1-2-4	○	★
<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしい営農活動の普及促進 ・省エネ技術等の導入促進 ・地産地消の推進 	3-2-1 3-2-1 3-2-1	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・都心拠点, 地域交流拠点などへの都市機能の誘導促進 	1-2-3	★	★
<ul style="list-style-type: none"> ・森林施業の推進 ・中心市街地・都市拠点の重点緑化 ・里山・樹林地の保全と活用 	3-2-1 3-2-2 3-2-2	★★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・環境NPO, 企業, 学校, 関係機関等との連携強化 	5-2-2	★★	★★

「低炭素のまち うつのみや」の実現に向けた各主体の主な取組

市民

- ・太陽光発電システム等の設置による自然エネルギーの利用など、効率的なエネルギー利用に努める。
- ・過度な暖房や冷房に頼らない省エネルギー化に配慮した建築に努める。
- ・LED照明等、省エネ機器の導入に努める。
- ・エコマーク製品などの環境に配慮した製品の購入に努める。
- ・EV（電気自動車）等の低環境負荷型自動車の利用に努める。
- ・公共交通や、自転車の積極的な利用に努める。
- ・地元産などの輸送コストの低い商品の購入に努める。
- ・日常生活における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。



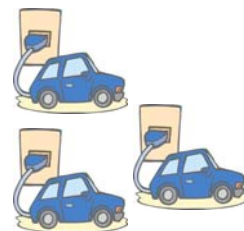
事業者



- ・太陽光発電システム等の設置による自然エネルギーの利用など、効率的なエネルギー利用に努める。
- ・過度な暖房や冷房に頼らない省エネルギー化に配慮した建築に努める。
- ・LED照明等、省エネ機器の導入に努める。
- ・エコマーク製品などの環境に配慮した製品の購入に努める。
- ・EV（電気自動車）等の低環境負荷型自動車の利用に努める。
- ・公共交通や自転車の積極的な利用に努める。
- ・事業活動における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。

市

- ・新エネルギー設備等の導入に努める。
- ・省エネルギー設備等の導入に努める。
- ・EV（電気自動車）等の低環境負荷型自動車の導入に努める。
- ・自転車を利用するなど、必要以上の車の利用を控えるように努める。
- ・市の業務における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。



2 循環利用のまち うつのみや の実現

- 宇都宮市は、全国有数の産業都市であり、多くの市民が生活していることから、産業や生活の様々な場面で多くの資源が消費、廃棄されています。
- 市域の一般廃棄物（ごみ）は、平成22年度からプラスチック製容器包装の分別回収を開始するなど、5種13分別の回収による取組が進み、順調に減ってきています。今後、更なるごみの減量化を図るためには、生ごみの資源化や、より一層のごみ分別の徹底が必要です。特に生ごみは、焼却ごみの45%を占めており、ごみの減量化とバイオマス資源の有効活用の2つの視点から、重点的に取り組んでいくことが求められています。
- 本市は平坦で広大な優良農地を有するなど、農業地帯としての特性を持っており、再生可能な有機資源であるバイオマス（家畜排泄物や稲わら、もみ殻等）が身近に存在することから、これらを有効活用することが資源循環利用を推進するために効果的です。
- 資源リサイクルについては、循環型社会形成推進基本法と各種リサイクル関連法に基づいて、廃家電、廃自動車、建設廃材、食品廃棄物などのリサイクルが行われています。今後は、レアメタルの回収などの新たな資源循環への取り組みが求められています。
- 適正な資源利用を推進するためには、循環資源をその性質や地域の特性に応じてなるべく近いエリアで循環させ、効率的で持続可能な「循環の環」を作っていくことが必要です。
- ひとやものを大切にする本市独自の「もったいない運動」は、市民活動としての展開をみせています。また、「ごみ出しや分別、資源回収」、「市民の生活マナー」など市民が自ら取り組める環境行動が着実に拡大してきています。

⇒ これらのことを踏まえ、資源採取、生産、流通、消費、廃棄などの社会経済活動の全段階を通じて、循環資源の利用や廃棄物等の発生抑制などの取組により、新たに採取する資源をできる限り少なくする社会の実現に取り組みます。

進捗を見るための目標指標

目標指標	基準 (平成21年度)	前期目標 (平成27年度)	後期目標 (平成32年度)
市民1人1日当たりのごみ排出量	883グラム	740グラム	710グラム

「循環利用のまち うつのみや」の実現に向けた取組内容

ターゲット	No.	プロジェクト名	プロジェクトの構成内容
有機資源を有効活用するために	①	有機資源リサイクルプロジェクト ～バイオマスタウンの実現へ～	<p>◆生ごみの資源化推進 資源の循環利用を促進するため、堆肥化など生ごみの資源化を推進します。</p> <p>◆バイオマスタウンの推進 循環型社会の実現や地球温暖化防止に寄与するバイオマスの有効活用を促進するため、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれたバイオマスタウンの推進を図ります。</p> <p>◆生ごみ減量化の促進 更なるごみの減量を促進するため、家庭からの食品廃棄物の減量や生ごみの水切り励行の推進を図ります。</p>
あらゆる廃棄物の資源化を進めるために	②	もう一度よみがえれ！リサイクルの環プロジェクト ～きちんと分けてまた会おう～	<p>◆廃棄物のリサイクルの推進 資源の循環利用やごみの最終処分量削減のため、プラスチック製容器包装や廃食用油、熔融スラグ等の資源化の推進を図ります。</p> <p>◆レアメタル回収事業の調査、研究、実施 世界的に埋蔵量が少ないレアメタル（希少金属）の循環利用を促進するため、使用済み小型家電製品を回収し、回収物に含まれるレアメタルの資源化推進を図ります。</p> <p>◆地域内での資源循環利用の推進 資源の性質や地域の特性などに応じた最適な循環範囲での資源循環を行うため、各種循環資源のリサイクルを促進するとともに、資源の域内循環についても調査研究を行い、なるべく近いエリアでの効率的な「循環の環」形成の推進を図ります。</p>
循環型の人づくり	③	「もったいないの約束」から始めようプロジェクト ～ひと・もの・まち みんな大事な宝物～	<p>◆ひとやものを大切にすもったいない運動の推進 市民協働による循環利用のまち実現のため、本市独自の「もったいない運動」を推進し、ひとやものを大切にするところを市民が広く共有するとともに、更に運動の輪の拡大を図ります。</p> <p>◆市民・事業者等と連携した3Rの推進 リサイクル推進員の取組や事業者のエコショップ認定制度の取組などを通し、人づくりや地域づくりを進めることで、市民協働での更なる3Rの推進を図ります。</p>

★★ 全部実施 ★ 一部実施 ○ 調査研究等

施策の体系における実施内容	施策体系	前期	後期
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな生ごみの資源化事業の推進 ・家庭単位での減量化・資源化の推進 	2-2-1 2-2-1	★	★
<ul style="list-style-type: none"> ・耕畜連携によるバイオマス活用の推進 ・剪定枝の資源化推進 	3-2-1 2-2-1	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・もったいない生ごみの減量推進 ・生ごみの水切り励行の推進 	2-1-1 2-1-1	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・「プラスチック製容器包装」の資源化の推進 ・溶融スラグの資源化推進 ・廃食用油の資源化推進 	2-2-1 2-2-3 2-2-1	★★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・レアメタル回収事業の調査、研究、実施 	2-2-1	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での資源循環利用の推進 ・地域単位での堆肥化事業の推進 	2-2-1 2-2-1	○	★
<ul style="list-style-type: none"> ・「もったいない運動」の推進 	5-3-1	★★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進員等、市民活動及び支援の推進 ・エコショップ等、事業者活動及び支援の推進 	2-1-1 2-1-2	★★	★★

「循環利用のまち うつのみや」の実現に向けた各主体の主な取組

市 民

- ・生ごみ処理機の導入など、生ごみの資源化に努める。
- ・エコマーク製品などの環境に配慮した製品の購入に努める。
- ・ごみの排出が少ない買い物に努める。
- ・マイバッグを活用し、レジ袋の削減に努める。
- ・ごみの減量に努める。
- ・リサイクルに努める。
- ・ごみの適正な処理に努める。
- ・日常生活における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。



事業者



- ・エコマーク製品などの環境に配慮した製品の購入に努める。
- ・ごみの排出が少ない事務用品の購入に努める。
- ・ごみの減量に努める。
- ・リサイクルに努める。
- ・ごみの適正な処理に努める。
- ・事業活動における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。

市

- ・環境に配慮した事務用品の購入（グリーン購入）に努める。
- ・資源の有効利用に努める。
- ・ごみの発生を抑制し、リサイクルに努める。
- ・公共事業における環境への負荷の低減に努める。
- ・イベント事業における環境への負荷の低減に努める。
- ・市の業務における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。



3 調和と共生のまち うつのみや の実現

- 宇都宮市は、日光の山々を源とする鬼怒川が山間部を抜け出る位置にあり、豊かな水、平坦な土地の広がり、身近な森林、長い日照などの恩恵を受け、自然との調和を図りながら、それらを生かした緑豊かな都市を形成してきました。都市化が進んだ今日でも、様々な形で人と自然との関係が続いています。
- 鬼怒川・田川・姿川に合流する多くの河川、点在する池、斜面から染み出す湧水などの水辺と、市域の北部・北西部を形作る森林、郊外の農地の広がり、公園や街路の緑、建物を囲む緑などが形成する水と緑のネットワークは、大小様々な動物の生息環境となり、全体として多様な生物が織りなす豊かな生態系をもたらしています。そしてその中には、学術的に貴重な種も存在していることから、それらの保全や活用を進めていくことが望まれています。
- 宇都宮市は産業都市であることから、生産活動や経済活動などを通して、身近な自然や生活に様々な影響をもたらすことも危惧されるため、事業者等との連携を深めながら、公害防止や環境配慮行動、環境保全活動などを促進していくことが重要となっています。
- 市民アンケートでは、「水や空気のきれいなまち」や「森や川が美しく、様々な野生の生き物が見られるような自然が豊かなまち」、「市民・事業者・行政が共に環境に取り組むまち」などが「目指すべき将来の環境の姿」としてポイントが高く、これらに関するまちづくりへの要望が高いことがわかりました。

⇒ これらのことを踏まえ、安全で安心な生活環境が確保されるとともに、生物多様性が適切に保たれ、自然の恵みを将来にわたって享受できる、人と自然と経済活動が調和・共生した社会の実現に取り組みます。

進捗を見るための目標指標

目標指標	基準 (平成 21 年度)	前期目標 (平成 27 年度)	後期目標 (平成 32 年度)
生活環境に、水や緑など、うるおい があると感じている市民の割合	65%	77%	80%

「調和と共生のまち うつのみや」の実現に向けた取組内容

ターゲット	No.	プロジェクト名	プロジェクトの構成内容
豊かな自然環境を守り、 未来につなぐために 親しみ、	①	水と緑のネットワーク 形成プロジェクト ～美しいふるさとを永遠に～	<p>◆都市の緑化・緑地の保全 中心市街地・都市拠点の重点緑化を実施するとともに、里地・里山の環境保全機能や豊かな景観を守るための保全活用策について推進を図ります。</p> <p>◆水と緑のネットワーク拠点の充実 様々な動物の生息環境となっている河川、森林、農地などのつながり（水と緑のネットワーク）を保全・活用していくため、周辺環境に配慮した多自然川づくりや、農地・森林等の保全を推進します。</p>
	②	生物多様性の保全推進 プロジェクト ～生き物の「つながり」と「個性」を守る～	◆生物多様性地域戦略に基づく保全施策等の推進 生物多様性の維持・保全を図るため、「生物多様性地域戦略」を策定し、この戦略に基づき、生物多様性を維持するために重要な地域を保全するなど、自然環境資源の保全・利活用策を推進します。
快適な生活環境を 実現するために	③	快適な生活環境の推進 プロジェクト ～安心して暮らせる社会づくり～	◆事業者と連携した生活環境保全の推進 自然環境と経済活動が調和した快適な生活環境を実現し、将来に渡って維持していくため、事業者と連携した生活環境保全の取組を推進します。また、経済活動からの環境負荷を低減するため、製造業や農業における化学物質や農薬等の適正使用や削減を推進します。
調和・共生の 人づくり	④	森や水やすがすがしい 空気を守り、引き継ぐ 人づくりプロジェクト ～引き継いでいく 未来世代から 預かったこの豊かな環境を～	<p>◆市民等による自然環境保全行動の推進 自然環境情報の提供や協働による自然環境調査を実施するほか、地域の資源を生かしたエコツーリズムやグリーンツーリズムなどの市民が自然と親しむ機会を拡充し、人づくりや地域づくりを進めることで、市民等による自然環境保全行動の推進を図ります。</p> <p>◆市民等による生活環境保全行動の推進 市民の生活環境保全対策への理解促進のため「環境にやさしい工場」の見学を実施するほか、事業者の環境保全活動を促進するための研修会を開催することで、市民・事業者等による生活環境保全行動の推進を図ります。</p>

★★ 全部実施 ★ 一部実施 ○ 調査研究等

施策の体系における実施内容	施策体系	前期	後期
<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地・都市拠点の重点緑化 ・ 里山・樹林地の保全と活用 	3-2-2 3-2-2	★★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・ 周辺環境と調和した多自然川づくりの推進 ・ 農地・農業用水等の保全の推進 ・ 優良農地の確保・保全の推進 	3-3-2 3-2-1 3-2-1	★★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境モニタリング調査の実施 ・ 自然環境の保全に係る地域会議の運営 ・ 生物多様性重要地域の保全 ・ 生物の生息・生育環境の保全・活用 	3-1-1 3-1-2 3-1-3 3-1-3	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇都宮市環境協定の締結 ・ 事業者の環境保全対策への支援 ・ 製造業や農業における化学物質や農薬等の適正使用，適正管理，削減の推進 	4-4-1 4-4-1 4-3-3	★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境モニタリング調査の実施 ・ 自然環境情報のデータベース化・提供 ・ ニューツーリズム（グリーン・エコツーリズムなど）の推進 ・ 森林ボランティアの育成 	3-1-1 3-1-1 5-2-1 5-2-1	★★	★★
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境にやさしい工場見学会の開催 ・ 公害防止や化学物質に係る事業者研修会の開催 ・ 製造業や農業における化学物質や農薬等の適正使用，適正管理，削減の推進 	4-4-1 4-4-1 4-3-3	★★	★★

「調和と共生のまち うつのみや」の実現に向けた各主体の主な取組

市民

- ・家の庭や周辺などの緑化に努める。
- ・雨水などの浸透に配慮した庭の管理に努める。
- ・生物多様性に関する理解に努める。
- ・生物多様性を守るためのマナーの徹底に努める。
- ・里山や河川などの身近な自然とのふれあい、生物多様性の保全に努める。
- ・日常生活における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。



事業者



- ・敷地内や周辺などの緑化に努める。
- ・雨水などの浸透に配慮した敷地の管理に努める。
- ・生物多様性に関する理解に努める。
- ・生物多様性に配慮した事業活動に努める。
- ・生物多様性保全活動への参加・協力を努める。
- ・公害防止と環境保全活動に係る「宇都宮市環境協定」の取組に努める。
- ・化学物質の適正保管に努める。
- ・事業活動における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。

市

- ・公共事業における環境への負荷の低減に努める。
- ・市の業務における環境管理活動の実践に努める。
- ・「もったいない運動」を実践し、「もったいないの輪」を広げる。

